



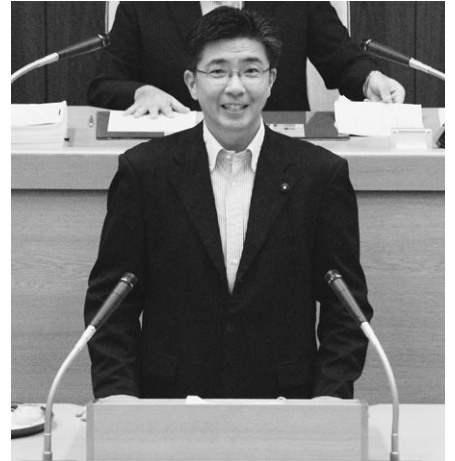
公明市議会ニュース

発行所：公明党川崎市議団 住所：川崎区宮本町1 TEL 044-200-3361 発行人：後藤 晶一 編集人：沼沢 和明

第3回 定例会 代表質問

「おもいやり」あふれる川崎へ!

田村しんいちろう議員は、9月12日の第3回定例会で公明党川崎市議会議員団を代表して、最先端医療関連産業の創出、公共施設の長寿命化対策、いじめ・自殺防止対策など24項目にわたり質問しました。ここでは代表的な項目を紹介します。



代表質問に立つ 田村議員

最先端医療関連産業で経済の活性化を図れ!

公明党が推進してきた国際戦略総合特区の取り組みをさらに加速するため、川崎市は国に対して「健康・未病産業と最先端医療関連産業の創出による経済成長プラン」を提案。

田村議員はその点を踏まえて、研究開発を進める大学と京浜工業地帯

の高度なものづくり企業の強みを最大限に生かすことの重要性を訴え、新たな産業の創出を推進すべきと主張しました。

総合企画局長は「①健康・未病の産業の創出②最先端医療関連産業の創出③イノベーション（新資

源の開発）を生み出す基盤構築、の三つの重点施策を民間主導で進めライフイノベーションの推進と経済成長に貢献していく」と答弁しました。



公共施設の長寿命化を図れ!

公明党はこれまで「かわさき資産マネジメントプラン」を全庁的に展開すべきであると主張してきました。

田村議員は、さらに公共施設利用者の安全確保や市民サービスの安定的、継続的な提供を確保するよう求めました。

財政局長は「公共施設の老朽化に

伴い長寿命化を重点的に取り組む。具体的には、道路と学校施設については<道路維持修繕計画><学校施設長期保全計画>を今年度に策定し、長寿命化を進めていく」と約束。また、「公共建築物については劣化損傷の拡大を未然に防ぐため<点検重視型保全>を実施する」と答弁しました。

ネットいじめの防止対策の強化を!

公明党は「いじめ」は犯罪との視点で、相談体制の充実や教職員によるグループ対応を求めてきました。特に児童・生徒間で広がりを見せているネットいじめの「LINE外し」による実態を指摘し、適切な情報化教育の必要性を訴えました。

教育長は「情報モラル教育の指導の充実を図り、指導者用資料『5分でわかる情報モラル教育Q&A』を各校に配布して具体的な対応への指導事例を示すとともに、今後は社会的ネットワークサービスである、通称SNS等に対する新しい指導事例も取り上げていく」と約束しました。

自殺防止対策をさらに推進へ!

川崎市では自殺防止対策として民間相談団体との連携による「川崎いのちの電話」「ゲートキーパーの育成」等の取り組みを行っています。

田村議員は生活に困難な課題を抱えている方に寄り添い、生活再建に向けてきめ細かく支え自立を手助けすることで自殺の予防が期待できると主張しました。

健康福祉局長は「今後区役所保健福祉センターの職員や地域包括支援センターなど関係機関による訪問支援活動を庁内関係部署と連携し推進を図る」と答弁しました。

